

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第46号 令和3年3月19日(金)
たきおっ子の生活信条：
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：55名
文責：(校長) 河地浩太郎

最後の一週間

4月に3日間登校したあと、二か月の休校を経た後の6月からスタートした令和2年度もやがて終わろうとしています。子どもたちが学校に来るのも、いよいよ残り2日間だけとなりました。学習のまとめや3学期の振り返りも終わり、あとは卒業式と修了式を迎えるだけです。子ども達にとっても、保護者の皆様にとっても今年は例年と違う一年になりました。私達職員にとっても同様でした。「三密」「マスク着用」「手指消毒」「検温」という言葉が日常化し、いろいろな場面で感染症対策をし、なんとか教育活動を進めることができました。例年通りとはいきませんでしたが、それぞれの場面で、子どもたちはよくがんばり、それなりの成果も見られたと思います。あと二日間、みんなでゴールできるようがんばっていきます。



震災の記憶を忘れない

3月11日は、東日本大震災から10年目の節目の年となりました。テレビや新聞でも特集の番組が放送されたり記事が掲載されたりしていました。それを目にするとともに、そこから学べる教訓を大切にして後世に伝えていかねばならないと感じました。熊本でも、つい先だって震度4（御船町は3）の地震が発生しました。熊本地震から5年も経つと、その記憶がだんだん薄れてしまっているような気がします。大切な事は、「災害を忘れず備えておくこと」「日頃からのつながり（コミュニケーション）を大切にすること」などを今一度認識したいものです。裏面に、3月14日に、御船町スポーツセンターの広場で行われた「御船町復興住民交流会」で、5年生の園田愛華さんが発表した作文を掲載しています。今の私達がすべきことは何か。そのことを教えてくれる作文です。ぜひ、家族のみなさんで読んでいただけたらと思います。

卒業プロジェクト完結 !!



今年の6年生が取り組んでくれた「卒業プロジェクト」は、これまでいくつか紹介しましたが、上の2枚の写真はその完結編です。左は、1階男子トイレの目隠しのためののれんです。6年生のイニシャルが刺繡されています。右側は、6年生と齋藤先生が手作りで作ってくれた「滝シシ・滝シカ」のマスコット（ぬいぐるみ）です。とてもかわいいです。6年生のがんばりに、本当に感謝です。ありがとうございます。6年生。

「お手伝い名人」の推薦、ありがとうございました

先週、保護者の皆様にお願いしましたところ、たくさんの推薦がありました。お風呂掃除、洗濯物のたたみ、床の拭き掃除、兄弟姉妹のお世話、料理など、子どもたちがたくさんお手伝いをしていることがわかり、とてもうれしくなりました。春休みもぜひ続けてくれたらと思います。※下記の人たちに名人の認定証を渡します。

1年	宮本 仁さん	4年	歌野光記さん
2年	日田柊海さん	5年	穴井愛翔さん
	千代島優さん		藤岡凌雅さん
	七村知輝さん		桑原奏音さん
	藤岡大悟さん		桑原凜音さん
3年	福島紫織さん	6年	錦戸大晟さん
	井上奈々さん		溜凜太郎さん
	遠藤百華さん		福島美織さん
	川端希歩さん		藤川優依さん



作田唯海さん

お世話になりました

3月12日付熊本日日新聞にも掲載されました。これまで御船町教育長をされていた本田恵典様が、3月末をもって退任されることになりました。後任は、現教育指導主事の上杉奈緒子先生です。本田様には5年8ヶ月という長きに渡り、御船町の教育のためにご尽力いただきました。本当にありがとうございました。

今年の図書貸出状況

本の貸出しが先週で終了し、年間の貸出し冊数が下記のとおりになりました。子どもたちが本当に本をよく読んだ一年になりました。

年間貸出し総数8,005冊（一人平均142冊）

※この他に、学級文庫の本もよく読んでいました。

裏面に多読者を紹介しています。

地しんで大変だったこと、これから生かしたいこと

滝尾小 五年 園田 愛華

私が小学校に入学してすぐ、大きな地震が起きました。次の日の夜中には、二度目の大きな地震が起きました。熊本地震です。

父は、夜勤でいなかつたので、母がねていた私と弟を起こして、家の外に出て車にひなんしました。とても不安でした。が、近くにいる祖父や母が守ってくれたので、安心しました。しばらくすると電気も停電になり、水も出なくなり、水と食べ物を御船。小学校の体育館にもらいに行きました。その時、母は弟を背中におんぶして、私の手をつないで、重い水や食べ物を運んでいたので、大変だつただろうな」と今、思います。

私が通っている小学校の通学路には、大きな岩が落ちていきました。しばらくして学校が始まつても滝尾小学校には通えなくて、スクールバスで御船中学校に通いました。御船中学校の多目的ホールでは、学年ごとに段ボールで仕切つて勉強して、給食もしばらくはパンと牛乳でした。朝もパン、夜はカツブラー เมンだったことを思い出します。それでも、友だちに久しぶりに会えたのでうれしかったです。

あの時、弟は二才で小さかつたので、さわいだり泣いたりして、他の人にめぐらをかけるからと、三週間くらい車の中で過ごしました。私の住んでいる玉虫の呂にも入れず、自衛隊の人が用意してくれたお風呂に入つたり、知り合いの人しづら家のお風呂に入らせてもらつたりしました。とてもうれしくて、感謝の気持ちでいっぱいでした。

スイッチを押せば電気がつく、水道のじや口をひねれば水が出る当たり前の生活が、とてもありがたいことなのだと思いました。私は、いろんな人達から支えられます。でも、今、家族と元気に過ごしていきます。

あの時、弟は二才で小さかつたので、さわいだり泣いたりして、他の人にめぐらをかけるからと、三週間くらい車の中で過ごしました。私の住んでいる玉虫の呂にも入れず、自衛隊の人が用意してくれたお風呂に入つたり、知り合いの人しづら家のお風呂に入らせてもらつたりしました。とてもうれしくて、感謝の気持ちでいっぱいでした。

スイッチを押せば電気がつく、水道のじや口をひねれば水が出る当たり前の生活が、とてもありがたいことなのだと思いました。私は、いろんな人達から支えられます。でも、今、家族と元気に過ごしていきます。

熊本地震を経験して、困っている人がいたら、手を差しのべられる人になりたいと思いました。



(河) 熊本地震の時の大変だったことがよく伝わってきます。愛華さんの作文を読んで、私もそのときのことを思い出しました。震災は大変だったけど、大切なことを学ぶことができましたね。そのことをみんな忘れずにいたいものです。

〔図書関係〕

【年間多読者：「読書名人」】

1年 増田紗依さん	206冊
2年 福島紫織さん	420冊
3年 溜 結菜さん	202冊
4年 藤岡凌雅さん	144冊
5年 井上佳音さん	225冊
6年 星野仁葉さん	233冊

【学級文庫多読者

：「学級文庫読書名人」		
1年 園田瑛太さん	31冊	
増田紗依さん	31冊	

2年 角谷竜弥さん	40冊
佐藤史龍さん	40冊
地部湖乃実さん	40冊
千代島優さん	40冊
七村知輝さん	40冊
福島紫織さん	40冊
藤岡大悟さん	40冊
松下庵菜さん	40冊
横山沙恵來さん	40冊
井上奈々さん	54冊
上田華菜恵さん	40冊
松本絆那さん	21冊

4年 霽田夢依さん	22冊
5年 井上佳音さん	18冊
6年 横山眞央人さん	16冊
作田唯海さん	12冊
藤田もえさん	13冊



